

## グアテマラ内政・外交(2008年9月)

平成20年10月  
在グアテマラ日本国大使館

### 1. 概要

(1) 政府・与党は、2008年度補正予算案を無事国会で可決させるに至り、また、2日に来年度予算案(いずれも経済定期報告参照)を国会に提出すると、早速、野党各党ほか各方面に対する合意取り付けのための働きかけに着手した。同予算案では教育、医療、治安、農村開発への手厚い配分が見られる。他方、コロン大統領は治安に関し、今後2年間で国軍兵力を15,500人体制から25,000人にまで増員することを検討している旨明らかにし、更に、国家文民警察についても、2011年までに17,000人から30,000人規模に拡大させる案等を披露するなど、改めて治安改善に向けた強い姿勢を示した。そうした折、大統領官邸、コロン大統領私邸他で多数の盗聴器が発見されたことは、政権幹部の関与も疑われる中で、各方面に大きな衝撃を与えることとなった。

(2) 外交面では、コロン大統領が国連総会にて大統領就任後初となる一般討論演説に立ち、国連の枠組みにおける対グアテマラ支援に謝意を表明すると共に、グアテマラとして国際社会と協調していく意向を明確にした。また、米国滞在中、潘基文国連事務総長との会談も実現し、コロン大統領は、特に発足から1年を迎えた「グアテマラにおける無処罰問題対策委員会(CICIG)」による国連の協力につき、その重要性に言及しつつ、これを謝した。

### 2. 内政

#### (1) 農村開発プロジェクト"ProRural"の立ち上げ

11日、コロン大統領は、農村開発審議会が策定した農村開発プロジェクト"ProRural"の立ち上げを発表。ProRuralは、同審議会による総合調整のもと計画・立案され、既存の国家開発基金(FONADES)を介して実施される。ドナー国・国際機関からの支援も見込まれており、2008年度については145百万ケツアル(約19百万米ドル)の予算で、基礎穀物の生産性向上、手工芸品生産技術の向上と商品化促進、コーヒー・カルダモン・カカオの生産性・加工技術向上と商品化促進といった大統領優先プログラムが46の最貧困市(約94,000世帯)にて実施される。

#### (2) 国会関係

##### (イ) 情報アクセス法案の成立

情報公開に関する法整備は1998年以来長年の懸案となっていたが、23日、国会では情報アクセス法案が可決された。情報アクセス法は、行政機関の保有する情報の公開について規定することにより、国民の知る権利と政府の国民に対する説明責任を確保することを目的としている。同法の施行により、行政手続きや国家予算執行等のより一層の透明化と、汚職等不正の駆逐がは

かられることが期待されている。もっとも、一部では、外交や国防に関する不開示情報について明確に定義されなかった点を憂慮する見方もある。

#### (ロ)2008 年度補正予算案の成立

2日、国会では 2008 年度補正予算案(1,400 百万ケツアル(約 185 百万米ドル))が可決。2008 年度本予算は、3.3%拡大し 43,935.5 百万ケツアル(約 5,820 百万米ドル)となった。一方で、最も配分の多かった通信インフラ住宅(500 百万ケツアル)の9月3日現在の予算執行率が 45.94%に留まっており、同じく農牧食糧省が 37.71%、労働社会保険省に至っては 33.88%に過ぎないことから、野党側からは政府の予算執行能力に対する批判も強い。また、今年度予算については、行政府の裁量で、国会の承認を経ないまま、省庁間の予算の組み替え(移転)が可能であることから、今後の実際の予算の使い道を懸念する声も聞かれる。

#### (ハ)2009 年度予算案の提出

2日、政府は、2009 年度予算案を国会財務委員会に提出した。2009 年度予算案は前年度比 16.9%増の、総額 49,723.1 百万ケツアル(約 6,600 百万米ドル)。全体として社会開発や治安、地方農村開発に対する配分に手厚く、また、対GDP比でも、教育が 3.3%(2008 年度は 3.2%)、保健が 2.2%(同 1.7%)、治安対策が 1.0%(同 0.9%)と伸びを見せている。なお、右予算案は会期末である 11 月 30 日までの成立が求められており、右成立までには、政府・与党と野党各党との間で次期国会議長選挙、来年度の公共事業割り当て等を「取り引き材料」に、様々な駆け引きが予想されている。

### (3) 治安関係

#### (イ)国軍兵力の増員案

1日、軍人養成学校 135 周年記念式典に参加したコロン大統領は、内戦終了当時 4,5000 人規模であった国軍が現在 15,500 人にまで縮小していることに言及し、今後2年間で 9,500 人増員(2009 年度 5,000 人、2010 年度 4,500 人)し、25,000 人体制とすることを検討している旨明らかにした。増員の理由として、国境警備や国際的麻薬取引等の組織犯罪への対応強化の必要性が挙げられた。もっとも、2日に政府から国会に提出された 2009 年度予算案には、本件に関する項目は含まれていないため、増員に伴う財源については今後の予算案修正により確保することを目指しているものとみられる。

#### (ロ)国家文民警察の増強

コロン大統領は、2009 年度予算における治安対策関連費を十分に確保することを目的に、9月後半より、野党各党と意見交換を開始し、政府の立場への理解を求めた。その中で大統領は、国家文民警察(PNC)についても、2011 年までに現状の約 17,000 人から 30,000 人に規模を拡充したい意向を伝えた。本年8月1日までの7ヶ月間に、銃器による殺人事件が 2,591 件、銃器による

傷害事件が 2,622 件、誘拐事件が 52 件発生しており、事態は依然深刻であることから、各党とも体制強化の必要性については概ね一致している。

#### (4)大統領官邸他盗聴事件

4日、コロン大統領は記者会見を開き、大統領官邸、同私邸及び私設事務所の執務室に合計7つの盗聴器が仕掛けられているのを発見したと発表した。その後、8日にはエスパーダ副大統領の執務室からも盗聴器3個が発見された。政権中枢部の一般にはアクセス困難な建物内のいたるところに盗聴器が設置されていたことで、キンタニージャ大統領府要人警護庁長官及びソラノ大統領府情報分析長官に対し疑惑の目が向けられることとなったが、右2名は引責辞任した直後に行方をくらましている。現在、米FBIの協力を得つつ捜査は進められており、同2名に対しては情報漏洩、スパイ行為等の容疑で逮捕状が出ている。

#### (5)人事関係：国家文民警察(PNC)長官の交替

21日、コロン大統領は、ヒメネス内務大臣同席のもと記者会見を開き、国家文民警察(PNC)改革の一環として、メンドーサ長官及びロペス次官の解任を発表。後任としてマルレネ・ブランコ警視が長官(女性として史上初)に、レンベル・ラリオス警視が次長に就任した。コロン大統領は、今回の交替は前任の二人に職務上の非があったからではなく、警察内部に新たなリーダーシップが必要とされているからであると説明した。なお、同長官はコロン大統領と旧知の間柄にあるオルランド・ブランコ現和平庁長官の姉である。

### 3. 外交

#### (1)コロン大統領の第 63 回国連総会出席

24日、コロン大統領は第63回国連総会で一般討論演説を行った。同演説では、「グアテマラにおける無処罰問題対策委員会(CICIG)」を含む国連の対グアテマラ支援への謝意、グアテマラ政府の国連PKO活動への参加、テロや麻薬取引を始めとする国際的組織犯罪に言及しつつ等、国連を通じた国際社会との協調の重要性を説き、国内面では、社会政策への優先的取り組み、財政改革を始めとする構造改革を紹介した。また、移民問題では移民の送出国・受入国の元大統領等からなるパネル創設を提案し、台湾関係では「中国と台湾が良好な対話路線を取りつつあること」を歓迎した。

#### (2)コロン大統領と潘基文国連事務総長との会談

第63回国連総会出席のため米国・ニューヨークを訪問中のコロン大統領は、22日、国連本部にて潘基文国連事務総長と会談を行った(ロダス外務大臣、ローセントール国連大使他が同席)。コロン大統領がCICIGを介した国連の治安分野における支援に謝意を表明したのに対して、潘事務総長は、グアテマラにおけるCICIGの活動の重要性を改めて強調し、国連として引き続きサポートしていく意向を伝えた。コロン大統領は、グアテマラ・ベリーズ間の領土問題にも言及し、国際

司法裁判所(ICJ)への付託により本件が解決することを期待する旨述べた。

### (3) ロダス外相とエスピノサ・メキシコ外相との会談

18日、ロダス外相はメキシコを訪問し、エスピノサ墨外相と会談を行った。同会談では、本年開催された第10回二国間委員会会合及び第12回・第13回港湾及び国境サービスに関するグループ会合で合意された、国境地帯における移民と人権、治安と法治国家、国境インフラの開発と近代化、環境及び経済社会成長に関する事項のフォローアップ状況が確認された。また、ロダス外相は、コロン大統領発カルデロン墨大統領宛の明年のグアテマラ公式訪問への招待状を墨外相に手交した。なお、ロダス外相はメキシコ滞在中、グアテマラを兼轄するメキシコ駐在各国大使との間で意見交換を行った。

### (4) 「グアテマラにおける無処罰問題対策委員会(CICIG)」: 発足1周年

8日、CICIG代表を務める国連のカストレサーナ弁務官は、当国外務省での報告会にて、活動開始後1年を振り返った。同弁務官は、CICIGが現在135人体制(外国人スタッフ(24カ国): 109名、グアテマラ人スタッフ: 26名)のもと、麻薬取引・人身取引・密輸等の組織犯罪や、これに絡む治安・司法当局の汚職に関する合計15の事案について捜査を進めていること、当面の予算は国際社会からの支援により確保できていること、一方で、警察を始めとする治安担当機関の腐敗や司法当局の機能不全のため必ずしも活動の成果が上がっていないこと等につき説明を行った。CICIGの活動は原則2年間。